

ジンコソーラー、25%のパネルの軽量化は産業への影響

2019年8月22日、「2019年中国500強民营企业」ランキングが発表された。当ランキングは主に企業の営業収入を参照にしており、その中でジンコソーラー有限会社の営業収入は去年の同時期と比較し82.60%増加し、去年より129位順位を上げ、150位にランクインした。ジンコソーラーのこのような迅速な発展は企業が長年に渡り絶え間なく商品と技術の研究開発に力を注いできたことと深く関係しており、特に商品の効率と質を上げるのと同時に、各プロセスコストを抑えてきた。ジンコソーラーが最近発売したSWANモジュールを例として、商品の25%の軽量化を通してコストの削減に成功し、顧客から高い評価を得た。

周知の通り、太陽光パネルの重さはBOSコスト、架台コスト、人件費などに影響を与える。メーカーにとって、パネルの軽量化を通じて、ブランドの競争力を高める重要な方法でもある。

両面ガラスモジュールと比較して、ジンコソーラーのSwan透明なバックシート両面モジュールは重量を25%軽量化している。倹約の重要性の大まかなアイデアを理解するのに簡単な方法がある。パネルの重量を25%倹約することでBOSのコストを3%、架台構造のコストを15%、労働コストを20%、そしてO&Mコストを5%減少させることができる。

両面モジュールを例とすると、両面モジュールの架台構造は裏面が追加の分散反射光を捕らえることが可能な高さまで上げられる。1M から 1.5M の高さが最適条件として推薦されている。もし固定傾斜架台構造を使用するならより急な傾斜の角度が一般的である。この急な傾斜角度の狙いは後方部を更に晒してさらに多くの分散反射光を促進することである。しかし、これは強風の状況下での荷重を大きくすることにもなる。したがって、架台構造と土台はより重いモジュールと予期されるより強い風荷量に耐えられる様な強度で新しく、明確で高価なデザインを必要としている。両面テクノロジーと追跡システムはもっと素晴らしいパフォーマンスをもたらす。特別なデザインや強化素材を必要としない中で、25%軽量化した単体軸追跡システムは追跡システム上でより優勢な荷重の緩和を供給することを示した。

これは、典型的な設備を語るときのケースとは同様ではない。しかし、山間部や、沖合の水域、塩過剰の土地、汚染された土地、荒廃した土地、高層ビルの屋上、カーポート、地下で作物の成長を可能にする農業状況などのパワープラントの位置する厳しい環境を考慮すると、基本的にアクセスが困難な遠方の場所は一般的に極端に高い労働コストと物流コストなどが必要となる。軽量化による俟約量は容易に二倍ほどになる。

「未来の両面モジュール趨勢は長期期間の保証(30年間)を含み、品質低下速度を低下、重量と同じように高確率で価格も低下するだろう。」とジンソーラー副会長の銭晶はコメントした。

ジンコソーラー (JinkoSolar Holding Co., Ltd.) について

ジンコソーラー (NYSE: JKS) は太陽光発電産業のグローバルリーダーです。ジンコソーラーは中国、米国、日本、ドイツ、英国、チリ、南アフリカ、インド、メキシコ、ブラジル、アラブ首長国連邦 (UAE)、イタリア、スペイン、フランス、ベルギー、その他の諸国地域にあるさまざまな公益、商業、居住区顧客基盤に対し、自社ソーラー製品を供給し、自社ソリューションとサービスを提供、販売。ジンコソーラーは 2019 年 3 月 31 日時点で、垂直統合ソーラー製品バリューチェーンを構築して、生産能力につきまして、シリコンインゴットとウエハーが 10.5GW、太陽電池が 7.0GW、太陽光発電モジュールが 11.0GW に達している。

ジンコソーラーは世界で 6 ヶ所の生産拠点があり、日本 (2) シンガポール、インド、トルコ、ドイツ、イタリア、スイス、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、チリ、オーストラリア、南アフリカ、アラブ首長国連邦、15 の海外子会社を持ち、販売チームはイギリス、ブルガリア、ギリシャ、ルーマニア、ヨルダン、サウジアラビア、南アフリカ、エジプト、モロッコ、加納、ケニア、南アフリカ、コスタリカ、コロンビア、パナマとアルゼンチンに広がって、従業員が 1 万 2,000 人以上を雇用しております。

〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目 2 番 1 号京橋エドグラン 9 階

代表電話 : 03-6262-6009

FAX : 03-6262-3339

ホームページ : <http://www.jinkosolar.com/index.html?lan=jp>